

# 地本・支部・職協が一体となって 会社は旅客と労働者の安全を確保せよ！

# NRU 国労せんだい

NO. 2472  
2006年10月12日  
発行責任者 太田 博二  
編集責任者 武田 昌仙

## 【安全は輸送業務の最大の使命である】

## 安全問題プロジェクト結成

地方本部は10月7日、安全問題プロジェクト（略称安プロ）会議を開催した。これはこの間の会社別、地方・首都圏別、旅客・労働者を問わず発生し続けている死傷事故や輸送障害事故に鑑み、地方本部・各職能別協議会・各支部が合同で定期的に会議を開催し、それぞれが抱える課題を集約し、問題の共有化と課題の克服、運動の前進を図ることを目的としている。

### ◆体制と当面する活動計画を確認 地本からの提起

会議は橋本副執行委員長の司会で開催され、太田執行委員長の挨拶後、大沼書記長より今会議の目的と趣旨が提起された。

#### その要旨は

昨年4月、尼崎線での事故以降、羽越線、伯備線の事故が立て続けに発生し、首都圏の輸送障害は社会問題化しており運輸局・国交省から警告を受けている。支社内でも感電死亡が2件、8月には幹線で労災死亡が起きており、合理化に起因する事故であり、会社指導の原因究明や対策は働く側の視点に立ったものではない。

この間、地本は事故や事象、その他問題点を関係分会や職協レベルで提起議論し、原因究明と対策要求を申し入れ、団



交を行ってきた。結果、一定の運動の前進や改善は見られたが、専門特化する業務や環境の変化にはこれまで以上の研究が求められる。

具体的には①4月25日の安全問題を検証する日の取組みを計画実施する②会議を定例で招集する③各職協職場の課題を集約し、改善に向けたバックアップ体制をとる④

### 舟形町若鮎温泉で

9月30日～10月1日にかけて、工務協議会恒例の手煮交流会が山形県舟形町の若鮎温泉にて開催されました。

当日は早川前議長と遊佐議長が夫婦で参加し、また工務協から大津事務局長、地本から橋本副委員長、原田山形

### 地酒と名物に舌鼓

### 工務協でいも煮交流会

県支部委員長、本部から佐藤委員長も参加し盛大に行われました。

### しっかり学習会も

交流会に先立って学習会も開催され、佐藤本部委員長から現状報告をもちいた後、職場の問題点を出し合い認識を深めました。各地区共通で出さ

要求は業務部でまとめ団交開催を求めるといったもの。

### 体制の確認

安プロの体制は橋本副委員長を座長に据え、事務局に五十嵐業務部長、委員として大沼書記長、武田教宣部長、各支部からの代表者及び各職協の代表者で構成する案が提起され、承認された。

### 当面する活動計画

当面する活動計画としては

変更で移動範囲の遠距離化要員不足による休日出勤と連夜作業の増大であった。また山形では業務の融合化が進められているなど出向発令時の業務内容が反故にされている実態も出されました。また試験の合格率が昨年と比較して非常に悪い結果となっていることも出されました。これらのことを解消するため、工務協が一丸となって奮闘することを確認してメインのいも煮交流会に突入しました。当地新庄連合分会が準備したいも煮ときりたんぼ鍋、舞茸ご飯にうどん、鮎の塩焼きとみそ田楽、また仙台保線区分会が鯉、秋刀魚、イカの刺身を振る舞いました。さらに各県の地酒や焼酎が持ち込まれ、料理と酒を大いに楽しみ、来年の交流会を福島で開催する事を決し、記念撮影で終了しました。

毎年恒例のマラソン（皇居外周）大会が開催間近となりました。開催十一回を数え、国労東日本恒例行事の「顔」として定着しており、家族も交え今年も白熱した闘いが展開される模様です。足が自慢の貴方！是非参加して韋駄天振りを発揮してください。



アクセラ鉄道ワーマン問題での研究と運動 設備職場における労働者のための保安体制作り リファイニングジャッキ問題の解決 幹線の労災死亡事故、の4点が挙げられ、それぞれの課題についての議論の経過や問題点、運動の進め方などについて各委員から報告がなされた。特にアクセラ鉄道については報道（河北新報）から安全面での懸念が示されるなど、徹底的な議論と研究、そして県議会や住民を巻き込んだ運動が求めら

# 保安体制、職場や地区で認識のズレ

## ◆工務協議会が分会代表者会議

国労仙台地本工務協議会は9月17日、地方本部に於いて安全問題に関する分会代表者会議を開催し、職場実態を出し合い全体で討論を行った。

### 討議内容

#### 山形地区では

仙山線でのLED撤去失念事故以降、重ダイヤ確認等の取り組みが始まったが、書き込みが面倒なので最近では行われていない。

触防の内容が難しくなってきた。見張員と名の付く種類が8つもある等）

知識不足の管理者もいる。段落としの中身を理解していない。触防を理解するのが大変になってきている。

P会社では、触防に違反するとレドカード・イエロカードの処分がある。その現状を踏まえた討論を。

仙設企187号については、グループ討議だけで中身が作成はない。

#### 仙台地区では

幹総の事故情報で現場の実態と違うことを問題にしてきた。現場に見張員がいないのに、情報では配置されていることになっていた。

5年ぶりに保線に帰ってきた。触防が何なのかも分からない。構内の状況、軌道回路等も分からない。しかし会社は構内連絡員、見張員、分細の線閉責任者等に指定してきている。

仙設企187号については、拡大C/S会議で背後要因、対策等を検討した。

#### 福島地区では

巡回調査 検査は線閉で行っていない。調整会議にも出ていない。

本線ではT/C列警が保安体制になってきたが、現所長がT/C列警が保安体制というのは誤りと

発言。

本線では線閉を取れる実態にない。

仙設企187号については、所長が説明しただけ。

#### 郡山地区では

巡回は磐西・磐東線では線閉、本線は見張体制で行っている。P会社で分岐検査を3人で行っていた。偶然安パトがあり、見張

### フリー討議

信通で分岐作業を行うときには保守作業簿、保線は線閉と保守作業簿。安全に関することなのは何故違うのか。

絶縁継目箇所で緩んでいたボルトを締めたら短絡した。緊急線閉を取るのが面倒。

メンテ体制後トラムスのデータだけでは仕事が出来ない。現場に行こうとすると保安要員が居らず、手続きが面倒。

### 今後の討論へ向けて

触防の内容点検 用語が難しくないか。手続きが大変でないか。保安体制に無理はないか。大構内での責任者 見張員の指定に問題はないか。現場を良く知らない人では不安。

総合巡視の実態に合った保安体制 巡視だけでなく作業や調査が増えている。

原則線閉 線区によってバラバラ。

線閉(保安体制)の取り扱い は 電力 信通と保線とでは考え方が違う。

P会社の保安体制に問題はないが、下請け会社安全も丸投げになっていないか。

P会社の保安要員は 検修職場に専用見張員を配置出来る要員は。

よいとなっているが、手続きが面倒。

ルールを守ると効率落ち要員もいない。保安体制を確立するために内務は超勤で、という雰囲気ではない。

会社の出したルールを1回守ってみる。やってみて会社へ不具合を指摘することも闘い。

総合巡視のあり方 赤ルートの増し締め、枝切り、調査等)作業に合わせた保安体制の確立。

お知らせ

国労会館建設資金返済業務の取り扱い変更について

国労会館建設資金返済業務は1999年度末償還期限以降、(財)国労会館仙台事業部で取り扱いを行ってきたところですが、このたび返済業務が一定の整理を見たこと等から、(財)国労会館仙台事業部で取り扱ってきた業務の残りについて、国労仙台地方本部で引き受けることになりました。

つきましては、今後の国労会館建設資金返済請求については下記に請求をしてください。

記

住所 〒984-0015

仙台市若林区新寺一丁目

名称 国鉄労働組合仙台地方本部 担当係 岡崎

連絡先 TEL022-29937460 FAX022-2997435

請求方法 所定の請求書に必要事項を記載の上、国労会館建設資金受領之證」とあわせて提出してください。

以上

